会津駒ヶ岳

檜枝岐～駒ノ小屋～会津駒ヶ岳（往復）

2009/4/19

L.菊地、志満、神戸、奥平（記）

　ついこの前、沢のオープニングをして安全な沢登りを祈願したのに、日帰りの沢ではなく日帰りの山スキーに行くことになりました。春の山スキーはイメージできますが、日帰りのパターンは思い出せません。菊地さんリーダーでその他メンバーが志満さん、神戸さんの合計四人。元気有り余っているメンバーで、これなら檜枝岐も遠いと思わないのでしょう。グズグズしていると四人がけの菊地さんの車が埋まってしまいそうなので二つ返事で参加しますと告げました。

　土曜１９時海老名集合にしてもらったので余裕の集合のはずが、何やかやしているうちにいつものようにギリギリになってしまいました。檜枝岐についたのは0時過ぎ。やっぱり遠いなあ、それから雪が少ない割には少し寒いかな、といくらかテンションを下げつつ仮眠。

　雪が少ないので大戸沢岳南東尾根は省略し夏道の滝沢登山口からとリーダーから告げられたが、そりゃそうでしょう。尾根に全然雪がないよ。志満さんはゴールデンウィークに白土さんと日本オートルートに行くことになっていて、今回スキーも半分トレーニング。大五郎風の入れ物に水を入れてボッカトレだって。緊張感伝わります。みんなに頂上で喜ばせようと果物の缶詰を隠し持っていくようです。見えてますケド。。

　少しローペースかなと思いながらも日帰りなのであまり長いコースではないですね。お昼になる大分前に会津駒ヶ岳山頂に到着。私以外のメンバーはこの前の沢シーズンで御神楽沢から頂上へ来たときの思い出の道標で、写真を撮ったあともそのあたりでしばし御歓談。そんな所に登ったら危ないです。忘れずに志満さんボッカトレフルーツ缶を頂上で食しつつ、下山。途中しつこく雪のあるところを狙うナメクジ式に下りて行きましたが、やがて斜面で雪がなくなってワンポイントだけスキーを持っておりました。それでも、そこはもう林道でスキーをつけなおして程無くして、もと来た滝沢登山口に出ることができました。

　温泉に立ち寄るともう夕方です。多少の渋滞は覚悟していましたが、ETC 割引のせいか人が多くて、これでは電車があるか心配です。都会を経由していたので井の頭線の駅で降ろしてもらいました。慌ただしかった気もしますけれど、日帰りもできるのですね。お出かけ代金も ETC 割引効果プラス４人乗り軽自動車効果でとてもリーズナブルでした。

コースタイム：

６：５０滝沢登山口駐車場発
８：００かついでいたスキーにシールを付けシール登り cont.1290m
１０：４５小屋横で小休止 cont.2030m
１１：１５会津駒ヶ岳頂上 cont.2130m
１２：００シールを外してスキー下りで頂上出発
１３：３０雪が切れ、スキーを担ぐ終了点滝沢登山口 cont.1110m

地形図：1/25000　檜枝岐、会津駒ヶ岳